

昭和60年
3月12日
発行
第107号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-2-14
K Iビル802
TEL (03) 433-3028
発行責任者
掛井 巖

綱 領
1. 吾々の労働生活は、社会正義を以て、立脚し、向上を期す。
2. 吾々の労働生活は、常に健全なる発展を期す。
3. 吾々の労働生活は、赤十字の人道精神を以て、社会の発展に寄与する。

日赤新労

第24回定期全国大会を開催 山梨県石和町「ホテルふじ」・昭和60年2月24~26日

60年度運動方針を決定 実質賃金・要求の実現めざす

旅情と史蹟の甲斐路、富士を眺め、全国五指に入る温泉を誇る石和温泉「ホテルふじ」において、全国各地の加盟単組の代表員、オブザーバー及び本部役員、顧問等百余名の出席のもとに、日赤新労第二十四回定期全国大会が、二月二十四日から二十六日の三日間盛大に開催され、今後一年間の重要な組合活動の中心となる運動方針、闘争方針などを決定した。

議事に従い、開会宣言の後、挨拶があり、祝電披露の後、各日赤新労労働歌合唱、資格審査、報告事項、審議事項が慎重かつ査、成立確認をし、大会規約を従って大会役員（二面別掲）を選出した後、議長団選出に移り、議長に渡辺康喜氏（唐津日赤）、副議長に藤村貴順氏（盛岡日赤）、大会書記に山本美江氏（岡山日赤）の三氏が選出された。

つづいて川出中央執行委員長（前・芳賀日赤執行委員長）のより今後の奮闘と、人徳完全実施をめざす決意を秘めた力強い黙とうが行われた。



第24回定期全国大会であいさつする川出中央執行委員長

☆報告事項☆

各部報告が組織・教宣・調査・婦人部の順に、それぞれの担当部長より報告があり、続いて中央書記長より過去一年間に渡る一般経過報告が、中央会計より五十九年度会計収支決算報告と、会計監査委員より会計監査の結果が報告された。

☆審議事項☆

- 一、昭和六十年度運動方針（案）について
今後一年間の新労活動の基本となる重要事項であり、慎重に審議を行なった結果、スローガンを除き、全会一致で本部案通り可決された。
- 二、昭和六十年度歳入・歳出予算（案）について
本年度も公共料金、国鉄運賃の値上げ等があり、非常に苦しい予算であるが、組合費納入の登録人数の増員を、各単組に協力をお願いし、組合費の値上げは今年も行わず、原案通り可決された。
- 三、昭和六十年度要求書並びに要望書（案）について
川出中央執行委員長より現状並びに、今後の見通しについて詳細な説明が行なわれた後、本部より昭和六十年度ベースアップの要求基準の提案がされ、定昇込みで九・八%、金額二万二千円、最底賃金の引き上げ額九千七百六十円が全会一致により承認された。
- 四、昭和六十年度闘争方針（案）について
原案通り可決された。なお署名簿提出については、四月十五日までに本部に送付することを約束した。
- 五、職能資格制度について
本部より職能資格制度について説明がなされ、活発な審議が行なわれた。その結果、議題はとりあえず廃案とし、研究テーマとして取り組むこととなった。

☆役員改選☆

昭和六十年度本部役員が次の通り選出された。
中央執行委員長・川出富治（名一日赤）、副委員長（高橋利行（福島日赤）、松本晃（鳥取日赤）、同書記長・掛井巖（浜松日赤）、同会計・梅津美穂子（福島日赤）、同執行委員・鹿島順（茨城日赤）、小貫幸枝（大田原日赤）、青木三子（名一日赤）、会計監査委員・星野馨（茨城日赤）、川崎実二（大津日赤）。



大会宣言の朗読

昭和60年度スローガン

- ◎労働戦線を強化し、実質賃金を獲得しよう
- ◎労働条件の改善により、社会的地位向上を目指そう
- ◎組織を拡大し団結と連携により、強力な運動を展開しよう
- ◎教宣活動により、自由と民主的で強固な組織をつくろう
- ◎職場の環境改善により、地域により良い医療の供給を促進しよう
- ◎婦人部活動を強化し、一層強力な体制を計ろう

大会宣言

日赤新労は、第24回定期全国大会を盛大な富士のすそ野にかこまれ、甲斐の情緒が今なお生きている信玄ゆかりの地、甲州・石和において開催した。我々は、昭和60年度運動方針として、労働戦線の強化と実質賃金の獲得、労働条件の改善と社会的地位向上など、六項目のスローガンをかけて、新労の理念を基調とし、全組合員の総力を結集し、ゆるぎない意志と団結のもと要求貫徹に、力強く前進することを誓います。

八五賃上げを以て

中央執行委員長 川出 富治

八五賃上げを以て、過去十年とはかなり違う特徴は、日本経済がこの春闘局面に入りつつあると思われ、過去十年間の二度に渡る石油危機をさみ、インフレと低成長にあり回された時代から、次の新たな中成長展望局面へ移行できるかどうかの節目にあたっておられます。
五十九年は政府経済見通しの改訂試算で実質成長率を当初の四・一%から五・三%へ上行修正、各種設備投資や企業業績予測も上向きの改訂を行っております。
世界経済も米経済の急回復に引っぱられ、上方修正された米経済が二・三%の通常の成長へ復帰するにもなつて、
も下っていく環境に変化しているからです。
八五賃金決定について労働争連絡会が発足し、八五春闘側は要求は中期的成長要求にまとめられております。その考え方として五十九年は五%、六十年も同様の安定経済成長をきめるに当たり、従来



日赤新労
第24回定期全国大会
昭和六十一年二月十六日

60年度新執行部です

中央執行委員長

川出 富治

(名古屋第一赤十字病院)

中央執行委員

鹿島 順

(茨城血セ)

会計監査

星野 馨

(茨城血液センター)



副執行委員長

高橋 利行

(福島赤十字病院)

中央執行委員

小貫 幸枝

(大田原赤十字病院)

会計監査

川崎 実二

(天津赤十字病院)



副執行委員長

松本 晃

(鳥取赤十字病院)

中央執行委員

青木二三子

(名一日赤)

顧問

宮野 政夫

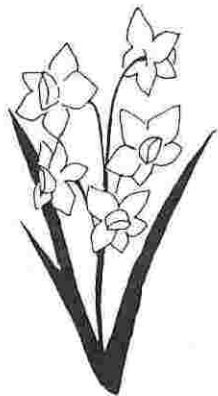
(新潟血液センター)



中央書記長

掛井 巖

(浜松赤十字病院)



ようこそ新しい仲間

山形県赤十字血液センター職員組合誕生

ンター職員組合誕生

「初めまして、山形県赤十字血液センター職員組合です」



みんな頑張りました

我が大田原赤十字病院職員組合のひとりの活動として、書道



大田原赤十字病院 職員組合 福利厚生部長・河原秀男

職場対抗卓球大会を

二月十七日(日)、名城大

「初めまして、山形県赤十字血液センター職員組合です」



第六ブロックの学習会が、今

新役員のプロファイル

中央執行委員 鹿島 順さん

日赤新第24回定期全国大会

患者さんへの看護は勿論のこと

退任の「あいさつ」

前・中央執行委員 大向 広治

前・中央執行委員 湯本 武子

中央執行委員 青木二三子さん

誠にせんえつながら、この大

湯河原の大会で選出されました

第24回定期全国大会役員構成

役員詮衡委員

梅村美穂子

(福島日赤)

選挙管理委員

中谷 和夫

(青森血セ)

宣言文起草委員

渡辺 邦男

(筑前山田日赤)

坂本 樹由

(足利日赤)

小堀 誠四郎

(芳賀日赤)

佐藤 信博

(浦河日赤)

大江 融

(愛知血セ)

武井 重晴

(豊橋血セ)

須賀 猛

(名二日赤)

富江 武司

(大津日赤)

佐賀 克己

(徳島血セ)

西村 和子

(鳥取日赤)

青山 圭一

(岡山日赤)

杉町 正敏

(唐津日赤)

森 一博

(名一日赤)

実藤 春夫

(福岡県支部)

前島 和俊

(前橋日赤)

檜 山 操

(大田原日赤)